

令和6年度事業報告

能登半島地震の影響で今年度開始予定の黒部宇奈月キャニオンルートが延期となりさらに黒部峡谷鉄道トロッコ電車が一部不通となる等非常に厳しい状況となりましたが、一方、日本で唯一「猫」がつく駅での特別下車は大きな話題となりました。当局としましてはキャニオンルートの関心低下を和らげるべく継続的な発信を行うと共に猫又駅に関する発信も積極的に行いました。また宇奈月温泉冬物語雪上花火大会の延長として、4月にも当局の自主事業として花火を打上ることで宿泊客誘致に努めました。

四者事業ではインバウンド対策強化として海外への出向宣伝を増やしました。そして当局独自の施策としては宇奈月温泉(木管) 事件に関する取組を昨年度以上に強化し、お守り授与や観光案内所での展示物を充実させました。また昨年に引き続き IP(知的財産) コンテンツの活用も積極的に行うと共に SNS 等による発信も強化することで新たな客層へ訴求しました。

1:令和6年能登半島地震

2024年1月1日に発生した能登半島地震の影響で、昨年度の宇奈月温泉冬物語雪上花火大会の開始日が1ヶ月遅れとなるなど多大な影響があったことから、当局による緊急対策として今年度4月にも計4回 当局と宇奈月温泉旅館協同組合の費用負担で花火を打上ました。

また黒部峡谷鉄道の橋脚破損によりキャニオンルート実施が見送られるだけでなくトロッコ電車自体が一部運行(猫又駅折り返し)を余儀なくされました。当局自主事業の柱の1つであるパノラマ展望ツアーも実施できませんでした。一方で猫又駅は日本で唯一「猫」がつく駅ということで通常関係者しか下車できない駅での特別滞在は大きな話題となり猫好きの方や猫をモチーフにしたキャラクターのファンなどが来訪されました。当局も積極的に情報発信を行うことで誘客を図りました。キャニオンルートについても世間の関心低下を少しでも和らげるよう出向宣伝や商談等で継続的な発信に努めました。

2:黒部峡谷・宇奈月温泉誘客促進委員会(四者事業)

黒部市・宇奈月温泉旅館協同組合・黒部峡谷鉄道株式会社・観光局の4者による共同誘客事業を実施しました。昨年度まではインバウンド向け動画作成等が中心でしたが今年度は香港、タイ、台湾へ実際に出向くことで更なる誘客を図りました。

3:宇奈月温泉の冬の誘客強化

日帰り温泉、セレネ美術館入館券、温泉街のスイーツがセットとなった周遊促進クーポンを今年度も発売し予定数を超える2,288枚を販売しました。毎週土曜日実施の宇奈月温泉冬物語雪上花火大会は予定通り1月から3月まで実施し多くのご宿泊客や日帰りの方にお越しいただきました。雪のカーニバルはたいまつウォークと雪上音楽花火が実施され今年は浪江女子発組合の播磨かなさんにお越しいただきました。昨年に引き続き全曲ももクロの音楽花火ということでモノノフ(ももクロのファン)のみならず播磨さんのファンにもお越しいただきました。

4:宇奈月温泉(木管) 事件の活用

昨年度から授与している「権利ノ濫用除お守り」はNHKのドラマ効果や各メディア紹介もあり法律関係者だけでなく一般の方の来訪も増えました。毎月1日の授与ですが土日と重なる日は長い行列が形成されることも珍しくありません。また「木管手ぬぐい」も好調な販売となりました。秋には司法試験・司法書士試験合格者向けに当手ぬぐいの合格祝いプレゼントを実施し昨年以上の方に贈呈しました。さらにニュースでよく目にする「勝訴」の手持幕を宇奈月温泉観光案内所に設置したところ多くの方が記念撮影をしてSNSに投稿していただけようになりました。

5:IPコンテンツの活用

黒部市も舞台となった旅マンガ「ざつ旅」や全国の温泉地で活用されている「温泉むすめ」といったIP(知的財産)コンテンツとのコラボ企画を積極的に実施しました。

ざつ旅は2025年4月にアニメ放送が決定しており宇奈月温泉街では商店によるグッズ販売もあることから多くのファンにお越しいただきました。冬期には毎年恒例のコラボポストカードを配布しました。また4月放送に合わせて連動誘客企画を実施すべくKADOKAWA側と調整を重ねました。

温泉むすめは春～秋にかけてデジタルスタンプラリーを実施しました。また全国約50カ所の温泉地と同規格で販売している御朱印を模したグッズ「御泉印(おんせんいん)」も年間を通して好調な売上となりました。年度末には「やまのは」から等身大パネルを譲りうけ観光案内所に移設したほか、雪上花火大会の最終日に温泉むすめ楽曲を使用した音楽花火を実施しました。

6: 既存事業の継続

①誘客・情報発信

(1) 主な県内外への観光PR

- ・ 夏山フェスタ(名古屋)：6月8日～9日
- ・ 香港出向宣伝：6月12～17
- ・ タイ出向宣伝：8月29日～9月2日
- ・ 富山県北陸観光PR会議(東京)：9月10日
- ・ 北陸地区観光商談会(東京)：9月17日
- ・ 大連旅行会社商談会：10月25日
- ・ 日本旅行西日本エリア店頭社員北陸現地研修：10月29日
- ・ 北陸三県修学旅行オンライン商談会：12月13日
- ・ 台湾出向宣伝：3月7日～10日

(2) 各種広告媒体を活用した情報の発信

- ・ 新聞広告: 北日本新聞、富山新聞、読売新聞、観光経済新聞
- ・ 雑誌: るるぶ、るるぶFREEなど
- ・ テレビ番組: 富山テレビ、石川テレビ、長野放送、岐阜放送、新潟総合テレビ
- ・ インターネット: Facebook、YouTube

(3) メディア取材の受け入れ

北日本放送、富山テレビ、みらいTV、KNBラジオ、ラジオ・ミュー

(4) 公式サイト、SNSの内容充実

昨年に引き続き公式サイトやSNSでの情報発信を強化しました。ライブカメラを設置して常時配信を開始しました。またブラタモリや宇奈月温泉(木管)事

件をテーマにしたモデルコースなども新たに掲載しました。ムービーギャラリーでは自前の動画投稿だけでなくメディアや一般の方が作成した黒部に関する動画を広く紹介しています。SNSではFacebookも継続しつつX(旧Twitter)での投稿頻度を高めました。会員企業様の投稿のリポスト等を積極的に行うと共に県内外の関連団体との連携も意識した投稿に努めました。特に道の駅KOKOくろべ周辺～生地エリアの事業者の投稿を積極的に拡散しました。

(5) 観光パンフレット・マップ、チラシ等の作成

黒部宇奈月温泉パンフレット、宇奈月温泉湯の街散策マップ、生地マップ、黒部ドライブマップ、食べ歩きクーポン、水の国名水めぐり、他

②黒部市観光ガイド連絡協議会

既存の市内観光ガイド団体(生地、若栗、石田、三日市、愛本、宇奈月、荻生)への助成金交付を行いました。また、各ガイドツアーの窓口として申し込みを受け付けました。

③ おもてなしの推進

黒部を訪れるお客様を温かくお迎えしました。

(1) 各観光案内所(宇奈月温泉、地域観光ギャラリー、魚の駅「生地」)での観光案内

(2) おもてなしサービスの提供

案内所名	主な取組・提供サービス
地域観光ギャラリー観光案内所	食べ歩きクーポン、アルペンライナー、くろワンきっぷ、チケットやグッズ販売、新幹線生地線1日フリーきっぷ、ウォー太郎グッズ、アートのまちめぐりパスポート、未来レター、新川地区観光スター、館内2階の展示コーナーガイド、展示物他、館内に設置のピアノ受付、JNTO・ジオカード設置、他
宇奈月温泉観光案内所	食べ歩きクーポン・ホッとHOTクーポンの販売、缶バッジやタオルの販売、クイズラリー、マンガ「ざつ旅」コラボカード配布、入浴剤・缶バッジ販売、温泉むすめ関連(パネル展示・スタンプラ

案内所名	主な取組・提供サービス
	リーア・御泉印販売)、「勝訴」 手持ち幕設置、未来レターの販売およびポスト設置
魚の駅 「生地」 観光案内所	清水の案内ほか

(3) 多国語を話せる職員スタッフの育成

※接客・英会話基礎セミナー参加等

(4) 各案内所に多言語翻訳機を配備

(5) 市内産業観光受入施設等の情報集約及び発信

(6) 宿泊施設の手配(新川地区)

④資源・商品の開発

第二種旅行業を活用した黒部らしい商品開発及び販売に取り組みました。

- ・ 黒部川リバーアドベンチャー 「ラフティング」「キャニオニング」
 - ・ 水の国黒部名水めぐり
 - ・ ローカル黒さんぽ
 - ・ いちご狩り(市内農業法人と連携)
 - ・ 各種団体ツアーのとりまとめ、手配(トロッコ電車、貸切バス等)
 - ・ 冬のプレミアムツアー販売
 - ・ 宿泊手配(ふるさと納税返礼品、名水マラソン等)

⑤その他関連事業

(1) 観光行事の開催・支援

- ・ 宮野山桜まつり：3月29日～4月14日
 - ・ 明日の稚児舞：4月21日
 - ・ 平和の像観音祭：5月18日
 - ・ 生地まち歩きフェスティバル：5月24日

- ・ 愛本姫社まつり：6月21日
- ・ じんじん祭り：6月24日～25日
- ・ 炙びす祭り：7月27日～28日
- ・ くろべ生地浜海上花火大会：7月27日
- ・ くろべ納涼楽市：7月27日～28日
- ・ 石田浜観光事業：安全ブイ設置を助成
- ・ 石田納涼まつり：8月3日
- ・ 宇奈月温泉峡谷花火饗宴：8月4日
- ・ 湯の街口ゲイニング宇奈月温泉：8月18日
- ・ モーツアルト音楽祭：9月14日～15日
- ・ 宇奈月カレーマルシェ：9月29日
- ・ 宇奈月温泉駅の100年時計設置(寄付)：11月23日
- ・ 宇奈月温泉冬物語雪上花火大会：1月11日～3月29日
- ・ 雪のカーニバル：2月1日

(2) 施設維持管理

市内各観光案内所や温泉施設(足湯)を管理し、相互連携による観光客の周遊を促しました。

- ・ 黒部宇奈月温泉駅周辺施設、足湯「おもかけ」、黒部市芸術創造センタ
ー セレネ

(参考資料)

(登録) 【地域 DMO】 (一社) 黒部・宇奈月温泉観光局 形成・確立計画 様式2 (観光庁)

(登録)【地域DMO】(一社)黒部・宇奈月温泉観光局

様式2

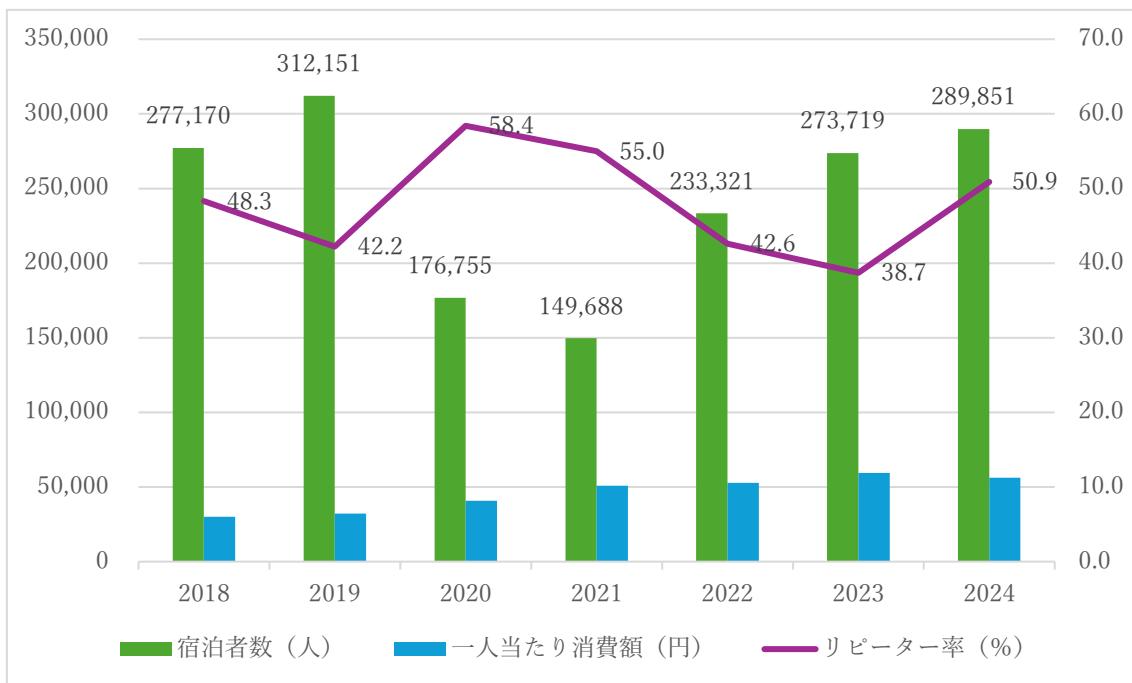
基礎情報		KPI(実績・目標)						
【マネジメント・マーケティング対象とする区域】		※()内は外国人に関するもの。						
富山県黒部市 【設立時期】平成23年4月5日 【設立経緯】③区域の観光協会がDMOに移行 【代表者】川端 康夫 【マーケティング責任者(CMO)】高野 晋 【財務責任者(CFO)】高野 晋 【職員数】16人(常勤7人(正職員6人・出向等0人)、非常勤9人) 【主な収入】【一般会計】89,381,067【特別事業】19,500,000【指定管理施設】173,828,189(円)※R6年度決算 【総支出】【一般会計】71,995,332【特別事業】19,490,046【指定管理施設】168,083,929(円)※R6年度決算 【連携する主な事業者】黒部峡谷鉄道、宇奈月温泉旅館協同組合、富山地方鉄道、あいの風とやま鉄道、関西電力、YKK、JAくろべ、JFくろべ、黒部市、富山県、等		項目	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度	2026 (R8)年度	2027 (R9)年度
一人当たり旅行消費額(円)	目標 ()	実績 ()	43,400 ()	45,200 ()	47,000 ()	48,800 ()		
延べ宿泊者数(千人)	目標 (50)	実績 (223)	350 (50)	350 (50)	360 (20)	370 (25)	380 (30)	
来訪者満足度(%)	目標 ()	実績 (93)	81 ()	82 ()	83 ()	84 ()	85 ()	
リピーター率(%)	目標 ()	実績 (42.6)	45.4 ()	52.7 ()	60.0 ()	61.2 ()		

戦略		具体的な取組	
【主なターゲット】 首都圏、中京圏、関西圏に住む、60~70代の団塊世代の国内旅行客。台湾、香港の団体客、家族旅行客。 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】 宿泊施設の設備改修、自然景観を活かした着地型旅行消費商品の開発。黒部ルート一般開放を見据え立山黒部地域の連携。 【観光地域づくりのコンセプト】 黒部峡谷と人間が育んできた『生きた産業遺産』と、流域に形成された観光交流のまち黒部		【観光資源の磨き上げ】 ・黒部峡谷パノラマ展望ツアー(H27開始) ・黒部宇奈月キャニオンルート(R8以降開節ごとに制作しWEB、SNSにて展開) 【情報発信・プロモーション】 ・多言語対応短編動画を季 ・HP、Google map、Google my businessの活用 ・各種二次元キャラクターコンテンツとの連携 【その他】 ・宇奈月温泉木管事件コンテンツの活用	

(参考データ)

グラフ①

- ・宇奈月温泉宿泊者数（暦年ベース）
- ・黒部市内来訪者（宿泊、日帰りを含む）1人あたりの平均消費額（交通費、宿泊費を含む）
- ・黒部市内来訪者のリピーター率



宿泊者数： 2024 年は 289,851 人まで回復し、パンデミック前の 2019 年 (312,151 人) の約 93%まで戻っています。

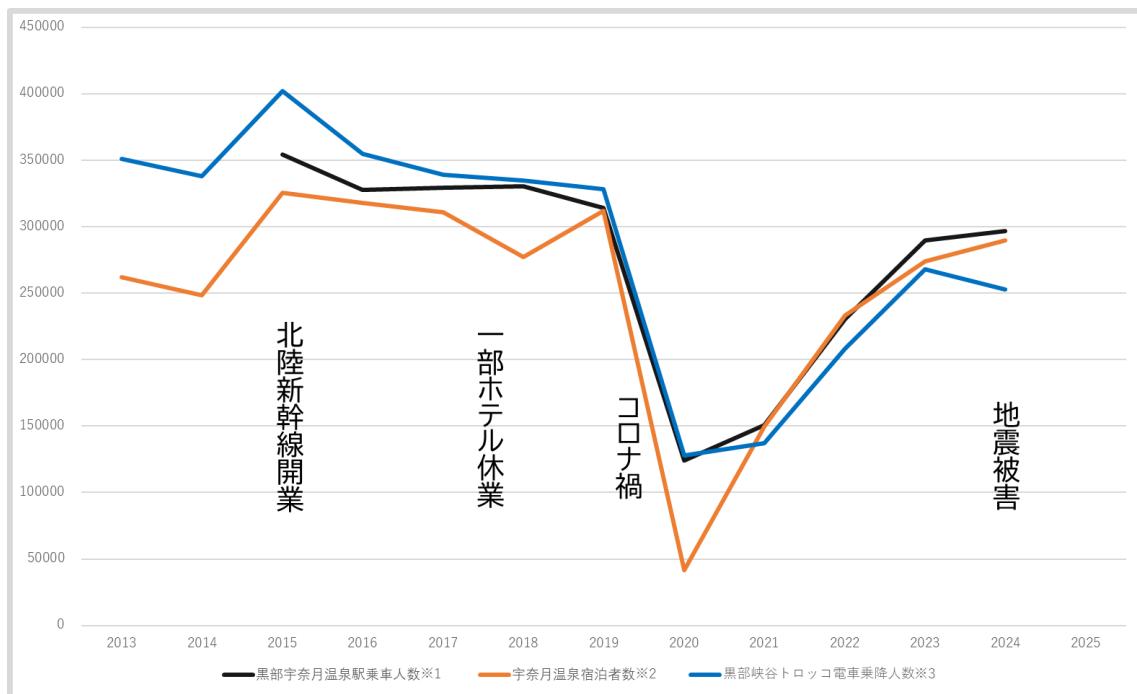
一人当たり消費金額： 2018 年の 30,047 円から、2023 年には 59,356 円とほぼ倍増しており、コロナ禍における旅館の高付加価値化の取り組みが奏功しているとみられます。2024 年は 56,181 円と微減していますが、依然として高水準を維持しており、「量から質への転換」に成功しています。

リピーター率： 2023 年に 38.7%と低迷しましたが、これは「100 周年事業」等による新規客の大量流入が要因と推測されます。2024 年には 50.9% まで急回復しており、新規客の一部が定着し始めた「ファン化の兆し」が見て取れます。

2023年は「客単価は高いがリピーターが少ない（新規・一見客が多い）」年であったのに対し、2024年は「客数は増え、リピーターも戻ったが、単価が少し下がった」年と考えられます。「物珍しさで訪れる高単価層」から「安定的に訪れる層」へシフトしていると見られます。

グラフ②

- ・JR 黒部宇奈月温泉駅乗車人数 ※1 交通事業者の実績値
- ・宇奈月温泉宿泊者数 ※2 宇奈月温泉旅館協同組合報告
- ・黒部峡谷トロッコ電車乗車人数 ※3 同社年間入込客数報告値÷2



2019年（コロナ前ピーク）を100%とした時の、2024年の回復率は以下の通りです。

- ・宿泊者数：92.8%（着実な回復）
- ・黒部宇奈月温泉駅乗車人数：92.2%（新幹線利用による流入は宿泊数と連動）
- ・トロッコ乗車人数：80.3%（大きく低迷）

2024年は、宿泊者数と駅利用者が前年比で増加（+6～8%）している一方で、トロッコ電車の乗車人数だけが前年比で約7万人（-10.2%）減少するという「逆転現象」が起きています。これは、能登半島地震の影響によるトロッ

この運行区間短縮（鐘釣・櫻平方面への不通）が直接的な要因と考えられます。

以上